

国際政策プロジェクト

International Policy and Strategy PJ

国際政策活動

Our Activities



制度調和、共通システム充実化、品質向上に向けて
グローバルユーザの立場で他国ユーザ団体や特許庁
との議論に参加し、ユーザフレンドリーな制度設計や
サービスの構築に貢献します



Group B+

国際政策PJは、JIPAの各委員会と連携して委員会の調査研究成果に基づき、法律、オペレーション、システムに関してグローバルな提言を行うことで世界を動かします！

特許庁-ユーザ会議

Offices – Industry Meetings

議論の場は世界を駆け巡る！

1つ1つの会議の場でまた新たな知財の歴史が生まれる！



最新IP5
仁川、会場



	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
IP5	USPTO サンノゼ	KIPO 釜山	CNIPA 泉州	JPO 東京	EPO マルタ	USPTO ニューオーリンズ	KINPO 仁川
	PHEP（ユーザから 優先項目を提案） ワンポートアルドシエ (OPD) クロスファイリング 制度マトリクス	PHEP（3項目決 定） OPD PCT/PPH ワークシェアリング PHEP 3項目決定	PHEP GD（優先5項目） OPD 検索協調バイロット 品質管理、PPH	PHEP GD（優先5項目） 検索協調バイロット 品質管理、PPH	PHEP GD（優先5項目） 戦略的課題 (品質等)	PHEP GD（優先5項目） 戦略的課題 (AI/NET, IP5協調の 将来)	
	ICG (IP5) GDTFと同時開催						
GDTF	EPO ハーグ	未開催	CNIPA 泉州	USTPO アレキサン드리ア	EPO ミュンヘン	JPO 東京	EPO ハーグ
	第1回会合 5府ビジョン表明		優先5項目採択	公衆向けOPD採択	Alertingリリース (審査状況のメール通知)	優先5項目中間報告 OPD改善9項目採択	OPD改善 GMTリリース (出願人情報)
三権	USPTO サンノゼ	EPO トリエステ	JPO 横浜	USPTO アレキサン드리ア	EPO セビリア	JPO 横浜	未開催

PHEP、検索協調バイロット、PJマネージメント等

制度調和に関する議論（PHEP、実体ハーモナイゼーション）、IP5議論への貢献、AI活用等

実体ハーモナイゼーション	シンポジウム (東京)	シンポジウム (ミュンヘン)	B+会場三権ユーザ参加 (Geneva) 2017シンポジウム (ミュンヘン)
--------------	----------------	-------------------	--

活動成果

Our Outcomes

- ◆実体ハーモナイゼーション（B+グループと連携）
 - グレースピリオド、拡大先願、先使用権の調和された制度設計！
- ◆PHEP（手続ハーモナイゼーションに向けてIP5と連携）
 - ①記載要件：共通事例で五府判断見える化！
 - ②単一性：PCT基準を再確認！
 - ③引用：親の引例を子に自動取り込み可能に前進！
- ◆グローバルドシエ（共通システムの実現）
 - JPOと連携して庁データのXML提供に向けて他庁を動かした！

グローバルドシエ

Global Dossier

【グローバルドシエとは】各国特許庁のシステムを連携させることによって
仮想的な共通システムを構築し、各国特許庁が有する出願・審査関連情報
(ドシエ情報) のユーザとの共有や IT を活用した新たなサービスの実現を目指す構想

【グローバルドシエの歩み】

- IP5会合（2012年）：Global Dossier Task Force設立
- 第1回GDTF（2013年）：ユーザからビジョンを表明
- IP5会合（2015年）優先5項目を採択



◆ Legal Status (SIP0/PPAC)

タイムリーなリーガルステータスの提供

◆ Alerting (EPO/BE)

出願・審査に関する状態変化のアラート通知

◆ XML based documents (JPO/JIPA)

出願書類・手続書類等のXML提供

◆ Proof of Concept (USPTO/AIPLA&IPO)

一庁への手続きの他庁への自動反映

◆ Applicant Name standardization (KIPO/KINPA)

出願人名称統一 (Global Mapping Table)

新たな動き

Coming up!

Future PHEP Topics

◆ Global Assignment

一庁の申請で他庁にも適用される仕組みを目指す！

◆ クレーム／図面の形式的要件の統一

形式的要件の相違による微調整作業のゼロを目指す！